# 現行の全国計画

(計画期間: H28~R7年度)

#### 視点と目標

#### 「居住者」からの視点

目標1 結婚・出産を希望する若年世帯・子育で世 帯が安心して暮らせる住生活の実現

目標2 高齢者が白立して暮らすことができる住生 活の実現

目標3 住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の 安定の確保

#### 「住宅ストック」からの視点

目標4 住宅すごろくを超える新たな住宅循環シス テムの構築

目標5 建替えやリフォームによる安全で質の高い 住宅ストックへの更新

目標6 急増する空き家の活用・除却の推進

#### 「産業・地域」からの視点

目標7 強い経済の実現に貢献する住生活産業の成

目標8 住宅地の魅力の維持・向上(災害施策含 む)

# ポイント

- ○少子高齢化、住宅ストックへの対策を重視
  - → 若年・子育て世帯への支援
  - → 既存住宅の質向上、流通円滑化、空き家対策

#### 現行の県計画

(計画期間: H28~R7年度)

#### 目標と基本的な施策

### 「住まい手」の視点

目標1 子育て世帯や高齢者を地域で支え合う住環 境の形成(空き家活用施策含む)

目標2 公共と民間、それぞれの役割に応じた住宅 ▼セーフティネットの形成

# 「住環境」の視点

▶目標3 良質な住宅を次世代につなげる社会の実現 (既存住宅、空き家管理施策含む)

|目標4 青森の風土に根ざした安全で健康な住環境 →の形成(災害、住宅地施策含む)

#### 「住宅関連産業」の視点

目標5 伝統と革新の合わせ技による住宅関連産業 の振興

#### 「住教育」の視点

目標6 ライフスタイルに応じた住生活を実現する リビングリテラシーの醸成

#### ポイント

- ○全国計画には無い独自の表現
  - →「住まい手」「住環境」
- 〇地域風土に根ざした住生活の実現
  - →気候風土、職人の育成、県産材活用等
- ○住まい手を育成する「住教育」の視点

※目標の色分け:現行の全国計画を参考に事務局で整理。

|はセーフティネット等、| は既存を含む住宅の性能、市場、|

は空き家等、

は住宅関連産業、

# (計画期間:R3~R12年度)R3年3月閣議決定予

定

#### 視点と目標

新たな住生活基本計画(案)

# 「社会環境の変化」の視点

▶目標1 「新たな日常」やDXの進展等に対応した新 しい住まい方の実現

目標2 頻発・激甚化する災害新ステージにおける 安全な住宅・住宅地の形成と被災者の住まいの確保

#### 「居住者・コミュニティ」の視点

▶目標3 子どもを産み育てやすい住まいの実現

▶目標4 多様な世代が支え合い、高齢者が健康で安 ▶ 心して暮らせるコミュニティの形成とまちづくり

■目標5 住宅確保要配慮者が安心して暮らせるセー |フティネット機能の整備

# 「住宅ストック・産業」の視点

▶目標6 脱炭素社会に向けた住宅循環システムの構 築と良質な住宅ストックの形成

目標7 空き家の状況に応じた適切な管理・除却・ 利活用の一体的推進

目標8 居住者の利便性や豊かさを向上させる住生 活産業の発展

# ポイント

- ○社会環境の変化に応じた横断的な視点の追加
  - →働き方改革、コロナ禍、災害頻発等への対応
- 〇既存住宅、空き家の利活用を重視

は災害対策を含む市街地等、

は住教育。